

地域住宅生産者グループ No.145

岩手の木の匠

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
岩手の木の匠の家	岩手県全域

グループの特徴とメッセージ

私たち岩手の木の匠は、岩手県内陸の県北地域を中心として、民間木造住宅、公共木造住宅、その他大規模木造建築等の経験は、豊富に経験しました。木材原木供給生産、製材においても県内を網羅し、県内産木材の流通においても安定した流通体制を実現しているグループであります。

特に省エネルギーに関する基準の断熱性能は、北海道と同じ地域Ⅰに該当し、また積雪においても100センチ以上の多雪地域の耐震性と耐積雪に、そして断熱性能に優れた住宅(カナダ住宅等含み)の建築を数多く建設し実績を積んできました。今までの技術的実績が地域型復興住宅にお役立てできる生産者流通ネットワークです。

グループの基本情報

グループ名称	岩手の木の匠
所在地	岩手県岩手郡岩手町大字沼宮内9-138-3
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	建築設計 建築施工 木材供給 木材製材 建築資材
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計12社 原木供給 : 2社 製材 : 2社 建材流通 : 3社 プレカット : 1社 設計 : 1社 施工 : 3社
代表者名	八戸保雄 (株式会社八戸建設代表取締役社長)
グループ内構成員の受賞・活動内容	・岩手県の県産材を利用して建設した住宅において平成8年度いわて優良木造住宅コンクール最優秀賞受賞(構成員の事業者実績) ・建築士会盛岡支部岩手町分会講習会(年1回)

※グループ内構成員の受賞歴・活動内容

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000~2000万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数*(木造戸建)	15戸
うち地域材活用の住宅	10戸
うち長期優良住宅	
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	10~15戸
自由記入欄(上記以外の実績等)	500万円以上の大~中規模リフォーム工事を20戸程度受注(年間)

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	八戸保彦 谷地直美 大石孝治	メール	Jm7@beige.plala.or.jp
電話番号	0195-62-3332	FAX	0195-62-5054
ホームページ			

地域型復興住宅

岩手の木の匠の家

地域型復興住宅のイメージと特徴

■木材と匠にこだわった家づくり

- ・木材をふんだんに使った住宅
- ・羽目板など木材を利用した建材の生産体制の充実
- ・県内産の木材を活用した社寺建築の実績ある確かな匠の家づくり

■省エネルギーと災害に強い家づくり

- ・高気密高断熱住宅カナダ住宅並みの性能を有する住宅を実現する。
 - ・長期優良住宅の対応できる設計施工の環境
 - ・HP システム(在来工法とパネル工法の融合)
 - ・スーパーウォール工法 (同上)
 - ・YS ストロングフレーム (構造用集成材プラス接合金物)
- 各種工法を選択また融合した建築が可能です。



平成 8 年いわて木造優良住宅最優秀賞作品



左写真の立面図

代表的事例の概要

構造	木造在来工法	床面積	1 階：79.14 m ² 2 階：71.21 m ²
設計	(有)アティック建築事務所	施工	株式会社八戸建設
施工費	1850 万円 (設計費用は除く)	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

■岩手の木の匠の家

- ・木材をふんだんに使用し大断面の集成材等も利用した設計、施工実績が多く経験豊富なスタッフが広い空間を提供します。
- ・省エネルギーに関する基準の断熱性を確保し長期優良住宅対応にはの手續きをいたします。
- ・耐震性では、構造計算のできるスタッフで対応し安全性能を充実します。
- ・住まい造りに必要な資金計画から設計、監理、アフターサービスまで、トータルサポートで対応。

主に活用している地域材について

地域材の名称	杉材
樹種	杉、アカマツ、ヒバ、檜
産地	岩手県全域
認証制度等	日本農林規格
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材、羽目板
自由記入欄	地域型復興住宅では県内材を50%以上活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■高気密高断熱、内断熱、外断熱、採用

- ・フラット35の技術基準対応の場合(木造住宅工事仕様書)(枠組み工法住宅工事仕様書)採用

下記仕様は、HPパネル工法を採用の場合

5つのSOLUTION

Ecology

環境配慮

●省資源・省エネルギー
木造住宅合理化システムの認定による優れた合理性・耐久性・省エネ性を実現するHPシステムの家は、住む人にも地球環境にもやさしい住まいです。

断熱材	熱伝導率 (W/mK)※
フラットフォーム	0.024
ポリスチレンフォーム	0.028
グラスウール	0.050

※熱伝導率：断熱材の中を通れる熱量。この数値が小さいほど熱が逃げにくい高い断熱性を表わします。

CO₂排出量を大幅に抑えることのできる環境に優しい住まいです。

一般住宅で局所冷暖房した場合と同程度のコストで家全体を冷暖房できます。

Healthy

健康

●計画換気(24時間・365日)
空気をリフレッシュ
家中を計画的に換気し、あわせて壁体内通気を行うことで、室内環境も建物も健康的に保てます。

シックハウスの心配がなく、結露を抑え、カビ・ダニの発生も防ぎます。

ダニ・カビが発生しにくく結露もしにくい健康住宅の条件

- 室温が冬で19～22℃、夏で25～28℃前後
- 室内の上下温度差が1℃以内
- 室内で15～18℃以下の低温部分がないこと
- 一日の温度変化が5℃以内であること
- 相対湿度が60%前後であること
- 換気が適切に行われ、空気が乾燥しないこと

Economy

省エネ

●温熱環境性能比較(年間冷暖房費ランニングコスト)

工法名	一般在来工法	HPシステム(旧地域仕様)	
工法仕様	在来工法	U/Pパネル	P/Pパネル
開口部	K=4.65W/mK	K=2.90W/mK(Low-E)	K=4.65W/mK
温熱環境レベル	新省エネ基準	次世代省エネ基準	新省エネ基準
床面積(坪)		39.27	
年間の冷暖房費(円/年)	232,500円	137,100円	183,400円

注) 上表の値は新熱地帯(旧地域)におけるモデルプランにより算出したものです。
 ※冷暖房費は、プラン・建築条件によって異なります。
 ※冷暖房費を比較するために、全ての工法において全居室冷暖房した場合(暖房時18℃、冷房時27℃)で算出しています。
 ※冷暖房費の単位は、円/年/㎡/年、電費25円/kWhで算出しています。
 ※断熱材仕様は、U/Pパネル：厚質ポリスチレンフォーム50mm、P/Pパネル：軽質ポリスチレンフォームII地域仕様50mm(天井は50mm)です。

●温熱環境は？
 室温：冬19～22℃、夏25～28℃をキープ

●冷暖房費は？
 HPシステムのU/Pパネルの場合、従来の一般住宅と比べ約4割(計算上)お得です。

地域住宅生産者グループ 岩手の木の匠

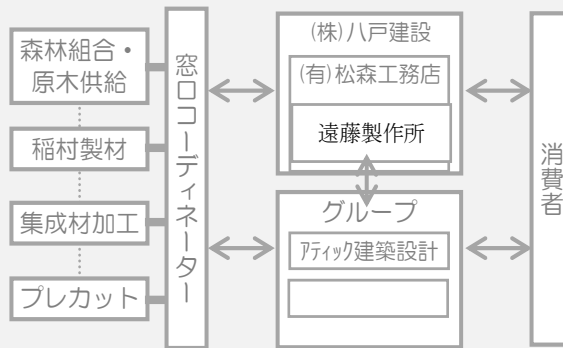
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■岩手県北地域による木材建材のネットワーク

- ・グループの森林組合及び製材所を中心とした木材の調達、近隣地域内また広域に連携をとり今まで充実資材また、実績ある流通体制の実現、また必要に応じて生産、流通資材の調達等グループの参加を依頼するなどして体制の強化を進めて参ります。

※左記の工法は採用可能なシステムの参考カタログです。

地域型復興住宅生産・流通ネットワークのトータルサポート体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■施主からの相談体制(アフターサービス)

- ・トータルサポート体制を行い相談維持管理体制を行う
- ・建物カルテ（家歴所）の作成
- ・カルテによって定期的な点検補修
- ・長期優良住宅に対しては、将来を見据えた定期的なサポートの体制を行う。

項目	内容
1. 所有者	姓名、住所、電話番号
2. 建築	建築年月日、建築士、建築費、延床面積、床下面積、総面積
3. 構造	構造種別、基礎、柱、梁、床、壁、天井
4. 設備	給排水、電気、ガス、暖房、換気、空調
5. 点検	点検年月日、点検内容、点検結果
6. 補修	補修年月日、補修内容、補修費用
7. その他	その他重要な事項

項目	内容
1. 所有者	姓名、住所、電話番号
2. 建築	建築年月日、建築士、建築費、延床面積、床下面積、総面積
3. 構造	構造種別、基礎、柱、梁、床、壁、天井
4. 設備	給排水、電気、ガス、暖房、換気、空調
5. 点検	点検年月日、点検内容、点検結果
6. 補修	補修年月日、補修内容、補修費用
7. その他	その他重要な事項